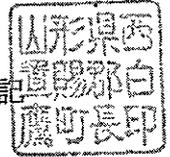


白建水収第209-1号
平成20年10月15日

国土交通省
道 路 局 長 殿

白鷹町長
橋 本 光 記



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付け 国道企第37号で依頼ありました標記のことについて
別紙のとおり回答いたしますので宜しくお取計い下さい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県白鷹町

山形県においては高速道路が部分供用で連続走行が不可能となっており、高速道路を利用する効果は殆ど発現していない。利用率が低いために整備効果がないと見られているが、早急に整備完了し利用率を高めるべきである。

当町のように過疎、少子高齢地域では公共交通機関が縮小され、道路整備の依存率が高い。道路を整備しても車の姿が見えないなどとの報道がなされているが、もともと人口が少ないのだから当然のことであり、都市部との画一的基準での比較は無理といえる。生活道路はもとより、高速道路接続を含む広域幹線道路の整備はまだまだ立ち遅れている。これ以上都市部と地方部の格差が出ないように要望します。

又当町では、重要プロジェクトとして交流施設を核とした土地区画整理事業を実施しているが、アクセス道路に老朽狭隘橋梁があり、開発発展のネックとなっている。老朽橋の延命化は必要ではあるが、単なる延命だけでなく、老朽狭隘橋は早急に拡幅を前提とした架け替えを要望します。

○現状

道路交通網の整備については、国道や主要地方道などの県管理路線と町が管理する町道を有機的に連結し、町民の暮らしと産業経済を支える最も基礎的な社会資本として整備を進めています。しかしながら本町は地理的な事情などから高速自動車道の計画ルートからはずれ、国道 348 号が開通し県都山形市との時間的距離は短縮されたものの、高速交通網からは取り残された感が否めない状況にあります。

○課題

本町と米沢市を 30 分で結ぶ規格の高い道路の実現や国道 287 号、348 号などの幹線道路の整備を協力を推進していく必要があります。また、町道は町の大型プロジェクトの必要道路や新規幹線道路への連結道路、未整備の通学・通勤道路、除雪不能生活道路など整備を要する道路が数多くあり、これらを計画的に整備することが必要になっていきます。

「快適で豊かな田園都市の創造」の精神の下、1,300年の歴史を刻んできた古典桜に代表される自然、文化、人の心など町の特徴やよさを大切にしながら、安全で安心できる快適な生活環境と豊で活力ある生活基盤のもとで、新たな文化を創造し心豊かな生活ができる美しい理想的な町を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・高速交通網へのアクセス道路の整備 ・老朽狭隘橋の架け替え	・交流人口の拡大	
・良好な生活空間の形成	・集落間連絡道路の整備 ・除雪不能路線の拡幅	・安全で安心できる快適な生活環境と豊で活力ある生活基盤の確保	
・			